

**第 65 回日本心血管インターベンション治療学会
関東甲信越支部 運営委員会議事録**

日 時：2025 年 5 月 10 日（土）13：40～14：20

会 場：大手町サンケイプラザ 3F 第 4 会場『311+2』

出席者：218 名

演者：3 名

欠席：56 名

議 題

1. 第65回地方会会長挨拶（武安 法之先生）

会長の武安先生より演題数、現時点での参加者などの報告があった。

2. 新運営委員ならびに異動報告

【承認】

【新運営委員】

- | | |
|--------|-----------------------------|
| ①高見澤 格 | 公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院 |
| ②吉岡 賢二 | 安房地域医療センター |
| ③土屋 寛子 | 群馬県済生会前橋病院 |
| ④木村 光 | JA 長野厚生連 佐久総合病院佐久医療センター |
| ⑤中尾 優 | 済生会川口総合病院 |
| ⑥磯貝 俊明 | 東京都立多摩総合医療センター |
| ⑦谷脇 正哲 | 三井記念病院 |
| ⑧飯塚 大介 | 医療法人徳洲会 千葉西総合病院 |
| ⑨上原 裕規 | 筑波記念病院 |
| ⑩森山 優一 | 地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立大久保病院 |
| ⑪中澤 峻 | JA 長野厚生連 北信総合病院 |
| ⑫生富 公康 | 千葉メディカルセンター |
| ⑬木下 浩司 | 東京慈恵会医科大学附属柏病院 |
| ⑭武井 眞 | さいたま市立病院 |
| ⑮酒井 俊介 | 水戸協同病院・筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター |

上記の中で高見澤先生と飯塚先生の 2 名が欠席で次回に持ち越しとなった。それ以外の先生よりご挨拶をいただき正式に運営委員として承認された。

【ご辞退】

青木康大先生、石橋祐記先生、山内正博先生、久保田健之先生、杉浦広隆先生は本人からの連絡で諸事情により辞任、清岡崇彦先生は勤務地変更のため他の地域へ移動となった。

【運営委員会連続欠席者】

- | | | |
|--------|-----------|----------------|
| ①岩塚 良太 | イワツカ リョウタ | 安房地域医療センター |
| ②原 英彦 | ハラ ヒロヒコ | 東邦大学医療センター大橋病院 |

【直近3年以内に発表が無い施設】

東京日暮里たんのハートクリニック
東京慈恵会医科大学附属第三病院
医療法人徳洲会 大和徳洲会病院

3. 第66回(2025/10/10・11 会長:伊藤良明先生)地方会について 【報告】
上記日程開催すべく準備を進めている旨の報告がなされた。

4. 第67回(2026/5/9 会長:藤本善英先生)地方会について 【報告】
上記の日程に大手町サンケイプラザで開催すべく準備を進めている旨の報告がなされた。

5. 第68回(2026/10/9・10 会長:新家俊郎先生)地方会について 【報告】
上記の日程に大手町サンケイプラザで開催すべく準備を進めている旨の報告がなされた。

幹事会で、以降の大会長について提案があり会場一致で可決し旨の報告を行った。 【報告】

- ・第69回:2027 春 会長:高橋 佐枝子先生(湘南大磯病院/湘南鎌倉総合病院)
- ・第70回:2027 秋 会長:山口 淳一先生(東京女子医科大学)
- ・第71回:2028 春 会長:石井 秀樹先生(群馬大学大学院)

6. 第64回(2024/10/11・12 会長:緒方 信彦先生)地方会会計報告 【報告】
大会長の緒方先生より報告がなされた。

7. 2024 年度会計報告と 2025 年度予算案について 【承認】
2024 年度会計について上妻支部長より説明がなされ、審議の結果異議無く承認された。
2025 年度予算について上妻支部長より説明がなされ、審議の結果異議無く承認された。

8. 運営委員推薦について 【報告】

次の14名の推薦があったが、既定の250名を超えてしまうことが判明、支部長判断で「今回は一旦見送り」と4/14に連絡を行った。午前中の幹事で活発な議論がなされ、その結果上限を280名まで増やすこととなった。

今回見送った下記の方々はそのまま次回に持ち越しとし、推薦受付も再開する。

- | | |
|--------------|--------------------|
| ①皆月 隼 | 東京大学医学部附属病院 |
| ②新村 大輔 | 横浜市立市民病院 |
| ③飯田 大輔 | イムス葛飾ハートセンター |
| ④石原 龍馬 | 河北総合病院 |
| ⑤サッキヤ サンディープ | 河北総合病院 |
| ⑥大場 祐輔 | 自治医科大学 |
| ⑦土井 信一郎 | 順天堂大学医学部附属順天堂医院 |
| ⑧陣内 博行 | 自治医科大学附属さいたま医療センター |
| ⑨山本 慶 | 練馬光が丘病院 |
| ⑩土山 高明 | 東京都立広尾病院 |
| ⑪岡田 興造 | 横浜市立大学附属市民総合医療センター |
| ⑫大塚 文之 | 横浜市立大学医学部 |
| ⑬小徳 のぞみ | 聖マリアンナ医科大学 |

9. 運営委員退任について

【承認】

定年制度が曖昧だったが、今後は本部の規定に倣い 65 歳になる 10 月の地方会までとなった。

10. メディカルスタッフ部会の報告

今年開催された部会の報告が支部長よりなされた

11. 本部からの報告

- ・働き方改革のアンケートから、5/15 に CVIT と厚労省によるプレスセミナー「循環器救急体制に関する学会からの緊急提言」実施の旨が発表された（内科医は増えているが、循環器内科医が減少していることへの現状打開策に向けて、研修関連施設の MAP の公開など）。
- ・ASD/PDA の CVIT 基準：プロクターを導入して指導を受けることが必須で、実施施設がない県優先で進めているため時間がかかっている。IASD のクロージャーも同様である
- ・適正使用指針の改定について（Shockwave の使用）：IVL/NIRS-IVUS、腎デナビーション
- ・札幌基金：40 歳未満の方が海外学会に発表に行く場合、40 万円までの補助が 10 名まで出ることになった。加えて、企業のサポートも見込んで石灰化病変の研究の公募も行う

12. その他

- ・CVIT コンセンサスドキュメントのインパクトファクターは高評価（5.575）を得ているが、より広めるため積極的に抄録など執筆した際は参考文献に記載する